

第3回子育て・子育てまちづくり研究会議事録

日時：平成20年7月10日（木）14:00-16:00

会場：東京大学工学部14号館1114号室

出席者：植田（練馬区） 大森（東京大学） 菅谷（東京大学） 安江（計画情報研究所） 八藤後（日本大学）（五十音順）

議事

1. 子育て中の外出および社会参加におけるバリアを考える

●子育て中の親の日常生活における以下のようなバリアの具体的事例について、自由に議論を行った。

○道路、公共交通、建築物等に関するバリア

- ・子供3人連れでの外出時に傘をさすのは無理。改札を並んで通れない。
- ・鉄道、バスの子供料金の仕組み（小学生未満でも3人目から料金必要？）がよくわからない。
- ・妊婦の時に自動改札の扉が急に閉まりお腹に当たったことがある。
- ・PASMOやSUICAなどの電子パスで改札を通ると、子供が料金を払わなくてもよいものと勘違いしてしまう。
- ・子供は寝てしまうと特に重い。
- ・人ごみの中を子連れで外出して他人に迷惑をかけたくないので、空いている時間や場所を選んで外出している。
- ・最近、若い人、特に若い男性が子連れに対して親切になってきたような気がする。
- ・金沢ふらっとバスはベビーカーのままでも乗りやすいし、座席が対面なので会話も弾む。
- ・子供はバスが好き。
- ・公共交通に乗ることは、子供の社会勉強になる。
- ・関西の人はよく話しかけてくれる。逆に、東京で知らない人に話しかけられると怖い。交通事故よりも不審者の方が怖い。地域による人間性の違いがありそう。
- ・不審者情報が小学校からメールで流れる。
- ・地域コミュニティ意識の高い地区の方が安全な気がする。
- ・コミュニティ再生のためには、子育て環境整備が重要である。
- ・自転車に子供を載せて移動しないと生活できない。
- ・自転車に子供を載せるのは怖い（運転に自信がない）ので載せない。
- ・雪国では冬はベビーカーで外出できない。買い物も宅配を利用することが多い。
- ・駅構内で貸し出せるベビーカーが欲しい。空港やショッピングセンターにはある。

○外出に伴い派生するバリア（トイレ、授乳施設など）

- ・外出時には、子連れセット（おむつ、ミルク、着替えなど）を持ち歩く必要がある。
- ・大型ベビーカーは荷物を載せられるので便利。
- ・多機能トイレは利用率が上昇してきたので利用するのに気兼ねがある。今後は多機能トイレではなく、障害者用トイレと子連れ用トイレ（おむつ替えができるなど）と分ける方がよいかもしれない。
- ・トイレの便房が狭くて子供を二人連れて入れない。
- ・子供がトイレのドアを開けてしまう。
- ・最近、男性用トイレにもおむつ替え設備が付いているところもある。

○子供に親のスケジュールが拘束されるバリア

- ・2～3歳時の「いやいや」期には、外へ連れ出すのも面倒。
- ・子供に「早く（しなさい）！」と言わない方が実は早いかもしれない。
- ・専業主婦は、外出をあきらめているのではないか。託児所付きだとしてもシンポジウムなどに参加しようとしな。
- ・子連れで出張する人もいる。
- ・子育て後の社会復帰を考えると、社会との接点がなくなるのが怖い。
- ・日本語教育学会や建築学会では育児室を用意している。
- ・たまに出張して解放感を得る。
- ・両親は近くに住んでいるが、自営業＆兄弟の双子の世話で忙しい、逆に高齢で預けるのが心配である、などの理由で子供を預けられない。
- ・親の介護と育児が同時期に重なると困る。
- ・会議への遅刻など、親が予定通り行動できなくてもよい社会になってほしい。
- ・子供の突然の発熱時に、病児保育、実家に預ける、仕事を休んで自宅で看病、姉の家に預ける、（ベビーシッターは2日前までに予約する必要がある）という選択肢があるが、病児保育に空きがなくて預けられない可能性もあるので、全ての選択肢の利用可能性を探る必要がある。
- ・穴をあけられない仕事は引き受けないようにしている。
- ・出張はできるだけ回数を少なく、期間を短くしている。→一昔前では考えられない。

○子育て支援サービスの利用（保育園、ベビーシッター、ファミリーサポートなど）に関するバリア

- ・職場に保育所があれば仕事を辞めてなかった。子育て後に社会復帰できるか心配である。
- ・練馬区では、年間8時間分（家事4時間、育児4時間）無料でヘルパーが利用できる。しかし、自分が病気になった時のために利用せずにとっておいてある。
- ・隣のおばあちゃんに、ちょっとお願いするといった「ちょっとお願い」ができない環境である。
- ・近所に同じ年代の子供がいる家庭があると頼みやすい。
- ・社宅のコミュニティは便利かも。
- ・子連れで利用可能な会議室が少ない。飲食禁止が多い。ファミレスが会議室？
- ・一時保育が一番便利かも。
- ・幼保園で出産の前後2カ月だけ預けられるところもあるらしい（12,000円/月）。

○外出および子育て支援サービスに関する情報入手に関するバリア

- ・介護サービスは自分で探さなければならない。探す時間、知識、エネルギーが必要。
- ・子供の年齢によって求めるサービスの内容が異なる。
- ・親ができるお稽古ごとの情報が欲しい。
- ・インターネットの情報は多すぎて使わない。口コミ情報の方が良い。
- ・練馬区では「ねりこそなび」という子育てサイトがある。
- ・子供のけが、病気への対応に関する情報が欲しい。
- ・子育てサービスの情報が欲しい。
- ・産後うつ病。選択肢あるけど探す余力がない。
- ・石川県七尾市で、病院に一本電話をすれば適切なサービスを紹介・アレンジしてくれるシステムの導入実験を行った。しかし思ったほど需要がなかった。都会向けサービスだと思う。
- ・子育てサービスは労働集約型であり、民間ビジネスが育ちにくい。

- ・和倉温泉でゆっくり食事＋入浴中の託児サービス実証実験は子育てママ友の需要が多かった。

2．その他

- ・福祉のまちづくり全国大会において、ランチョンセミナーを行う予定。日時:9月1日(月)12:00-13:00。

文責：大森